

◆◆夕張市が実施する風しん第5期定期予防接種を受ける前に必ずお読みください◆◆

風しん第5期定期予防接種説明書

～風しんについて～

風しんは、風しんウイルスによって引き起こされる急性の発疹性感染症で、風しんへの免疫がない集団において、1人の風しん患者から5～7人にうつす強い感染力があります。症状は無症状からまれに重篤な合併症を併発するなど幅広く、特に成人で発症した場合、高熱や発疹が長く続いたり、関節痛を認めるなど小児より重症化することがあります。また、風しんに対する免疫が不十分な妊娠20週ごろまでの妊婦が感染すると、先天性風しん症候群（目や耳、心臓に障害が出る）の子どもが生まれてくる可能性が高くなります。無症状でも他人にうつすことがあるので、感染を拡大させないためには社会全体で免疫をもつことが重要です。

～ワクチンについて～

風しんワクチン（主に接種されているのは麻疹風しん混合ワクチンです）を接種することによって、95%以上の方が免疫を獲得することができますと言われています。接種量は、0.5mlを1回皮下に注射します。

～風しん第5期定期予防接種を受けることができない方～

次の方は、風しん第5期定期予防接種を受けることができません。

- ① 風しん予防接種に相当する予防接種を受けたことがある方で、今回の予防接種を行う必要がないと認められる方。
- ② 明らかな発熱（接種当日37.5℃以上の発熱）がある方
- ③ このワクチンの接種液の成分でアナフィラキシーショック（呼吸困難や全身性じんましんなどを症状とする急性で重度のアレルギー反応）を起こしたことがある方。
- ④ その他、医師の判断で予防接種を行うことが不適当な状態にある方。

～風しん第5期定期予防接種を受ける際、十分に注意をしなければならない方～

次の方は、予防接種を受ける前に、接種が可能か必ず医師に相談してください。

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患を有する方。
- ② 過去に予防接種で接種後2日以内に発熱の見られた方及び全身性発疹などのアレルギーを疑う症状のみられた方。
- ③ 過去にけいれんの既往のある方。
- ④ 過去に免疫不全の診断がされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方。
- ④ このワクチンの成分に対してアレルギーを呈するおそれのある方。

～裏面も必ずご覧ください

～予防接種の副反応～

予防接種後に副反応が起きる場合があります。

接種後の副反応としてもっとも多くみられるのは発熱です。接種後 1 週間前後に最も頻度が高いですが、接種して 2 週間以内に発熱を認める人が約 13%います。その他には、接種後 1 週間前後に発疹を認める人が数%います。アレルギー反応としてじんましんを認めた方が約 3%、に見られます。まれにですが、アナフィラキシー（呼吸困難、血管浮腫、蕁麻疹、発汗等 0.1%未満）、血小板減少性紫斑病（0.1%未満）、急性散在性脳脊髄炎（頻度不明）、脳炎・脳症（0.1%未満）、けいれん（0.1%）といった重大な副反応があると報告されています。

～予防接種後の注意～

- ① 予防接種を受けた後 30 分位は、急な副反応が起きることがあります。 医師（医療機関）とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
- ② 接種後に高熱やけいれんなどの異常が出現した場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- ③ 接種後 1 週間は体調に注意しましょう。また、接種後、腫れが目立つときや気分が悪くなったときなどは医師にご相談ください。
- ④ 発熱等がなければ、接種当日の入浴は問題ありませんが、接種部位をこすことはやめましょう。
- ⑤ 接種当日はいつも通りの生活をしてかまいませんが、激しい運動はさげましょう。

※予防接種後の副反応が原因で医師の診察を受けた場合は、市保健福祉課保健係にご連絡ください。

～予防接種健康被害救済制度～

風しん第 5 期定期予防接種（市が実施する定期接種に限ります）が原因で健康被害が発生し、厚生労働省が認定した場合、市が健康被害に対する給付を行う制度があります。

給付申請の必要が生じた場合には、市役所保健福祉課保健係までご連絡ください。

夕張市役所保健福祉課保健係
Tel 0123-52-3106